

まちづくり活性化バス「キララちゃん」の拡充について



古沢喜幸 議員

質問 高齢者などの交通弱者の救済と土浦駅前前の活性化を図るため、駅西口を起点に、市の南西の住宅密集地を走る、新たなバス路線を提案いたします。

産業部長 まちづくり活性化バス「キララちゃん」は、NPO法人が事業主体となり、中心市街地の活性化を目的に、中心市街地と周辺エリアを結ぶ3路線を設け、平成19年から本格運行しており、運行ルートは、試験運行期間の実証結果などを基に、決定されたものです。

土浦地域公共交通総合連携計画では、キララバスは駅などの拠点地域周辺の移動を行う地区内交通としての位置付けがされており、ご提案の路線の新設は難しいと考えておりますが、コミュニティ交通が補完できない地域の高齢者の移動手段としては、ドア・

ツー・ドアのデマンド型交通「のりあいタクシー土浦」の利用が位置付けされています。

なお、バス路線空白地域における新たな交通システムの導入は、今後地域においてコミュニティ交通の必要性の機運が高まった時に、改めて協議がされることになると考えています。

(掲載以外の質問事項)

・入札制度の改善について



土浦駅前北地区第一種市街地再開発事業は、佐賀県武雄市方式を参考としては



矢口 清 議員

質問 図書館は、読書施設から、まちづくりや地域福祉等の情報センターへの脱皮が図られつつある。図書

館をまちおこし的手段としてはどうか伺います。

教育部長 現図書館は、生涯学習館との複合施設となっており、面積は1千159平米、蔵書冊数は、本年8月末現在で32万3千833冊です。

新図書館の施設については、北地区再開発事業の基本計画によると、面積は約5千670平米、蔵書数は56万冊を見込んでおり、新図書館は、中核図書館としての機能を持たせること。豊富な資料群による市民への直接サービス機能を充実させること。調査研究図書館としての機能を持つこと。保存図書館としての機能を担う施設として整備をする」と書いてありますので、これを目標といたして、現在、基本計画を策定中です。

この基本計画の中で、総事業費やどのような施設にするかなどの検討を行ってまいりたいと考えており、新たな図書館のサービス内容、目標とする利用登録者数、貸出点数、人口1人あたりの貸出点数等についても目標を持って、より詳しく検討して基本計画を策定してまいりたいと考えています。

地域活性化とキララまつりの可能性について



白戸優子 議員

質問 祭りは新しい地域連帯をもたらしことから、本市の文化資源であるキララまつりをもっと活用し、地域連帯の強化や経済波及効果を図れないか伺います。

産業部長 キララまつりは、地元商店街を始め、各種団体や地域の皆様方のご理解、ご協力を得ながら実施し、地域との連携抜きにはできないイベントで、毎年趣向を凝らして実施しています。

楽しかったふるさとの祭りの記憶は、深く子どもたちの記憶の中に残り、その思い出が郷土愛の心、土浦を愛し、誇りに思う意識の醸成につながるのではないかと考えています。

そのような点からキララまつりそのものの魅力化と、子どもたちの参加の機会等について、いろいろな知恵を持った実行委員会の皆様に諮りな

がら取り組んでまいりたいと思っております。

祭りに訪れた方に「また来たい」と思わせるようなイベントについても、他市の事例等も参考にしながら研究し、多くの人に、本市を訪れていただき、経済的にも地元が潤うようなイベントとしていきたいと考えております。

(掲載以外の質問事項)

・地域活性化と小町の里について

市内小中学生のスポーツ、文化等、各種大会の活躍について



井坂正典 議員

質問 スポーツや文化、あるいは各種大会でいい成績を残したり、残せなかったが仲間と一緒に頑張ったと、行政や議会が称賛することができないか伺います。

教育長 児童生徒の豊かな人間性を培い、丈夫な体とたくましい心を養うには、文化やスポーツ面での活動は大きな柱になるものと考えて